

山田小一体化へ前進

市教育長が方針表明

ふれあいだより

山田校区
ふれあい
協議会

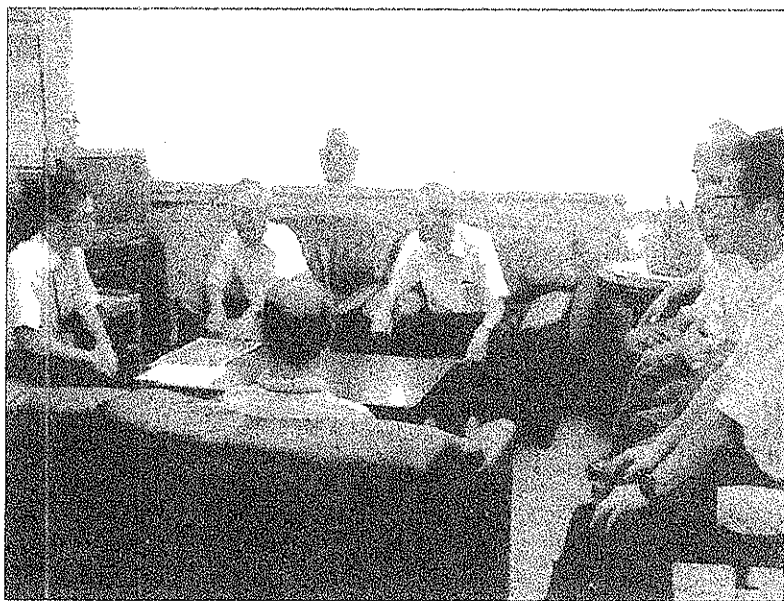
山田小の校舎とグラウンドが旧電鉄線などで分断され、校内活動に大きな支障をきたしておりました。

山田小教育環境整備推進委員会は、電鉄跡地の市有化、自転車歩行者道計画の浮上をきっかけに、校舎・グラウンドの一体化を、市教委に働き掛けてきました。

その結果、市教委は一体化を決断し、近接する住宅の移転について協議を進めることになりました。

懸案の問題が解決へ大きく前進したものと期待されています。

私たちふれあい協議会は、「山田小教育環境整備推進委員会」を立ち上げ、三年前から再三「校舎・グラウンドの一体化」について要請して参りました。その結果、九月十三日、鈴木教育長から次



鈴木教育長が推進委メンバーに一体化表明（9月13日、教育庁で）

のような回答が寄せられました。

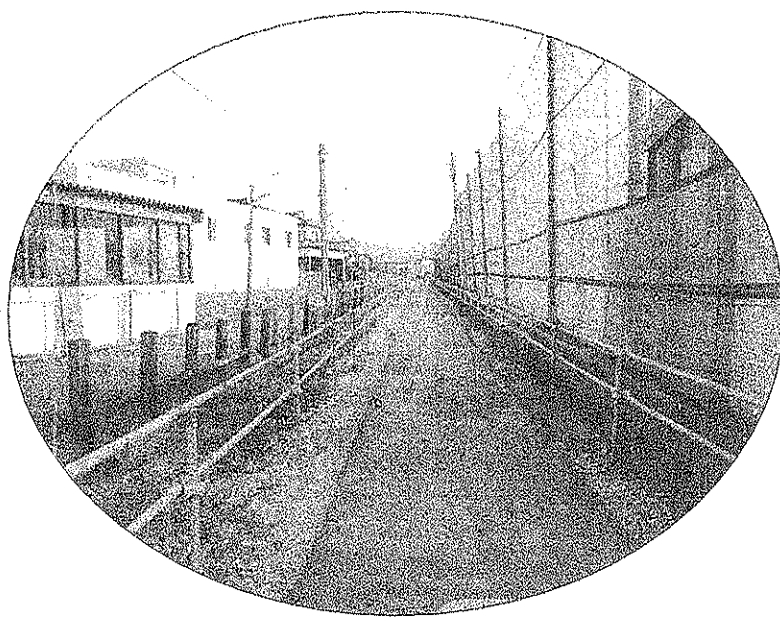
『昨年度に市長あて、当職あてに要望書をいただいておりますが、回答いたします。今後、地域の皆様の

実現に期待膨らむ

市当局は、近接の五世帯の皆さんが移転を

要望の内容を踏まえ、自転車歩行者道整備の計画と調整を図りながら、山田小学校の敷地の一体化に向けて事業を進めていく方針といたしました』

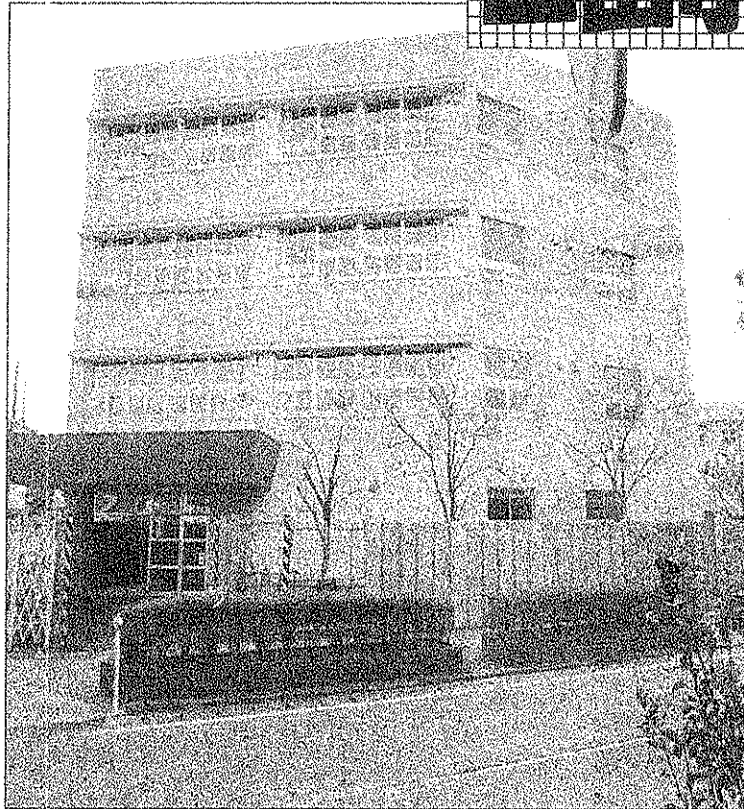
了承していただけるか、協議を続ける方針です。



私たちは、話し合いが円満に進み、両者納得できる解決を導き出すよう祈っております。自転車歩行者道はどうなるのでしょうか。今のところ、迂回路案を中心に検討されるのではないかとみられています。

写真II校地を真つ二つに分断している旧電鉄線

山田小の新校舎完成



待ちに待った新校舎。新鮮な雰囲気漂っている

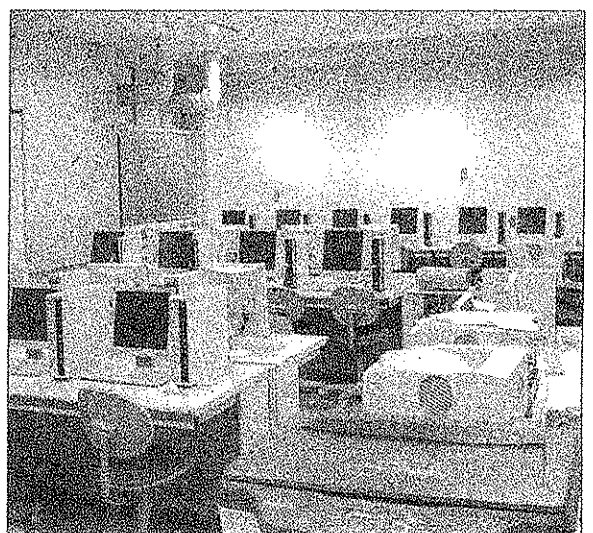
教室は明るいオープンルーム

山田小学校は児童の増加と一部校舎の老朽化のため、大がかりな改築計画を進めてきましたが、そのメインの四階建て新校舎が完成しました。昨年八月着工してから、ほぼ一年。以前の正面玄関脇のピオトップ跡地に堂々とした姿がお目見えしました。旧南側校舎の解体など、残された工事を終え、大改修工事が完了するのは来年七月になるそうです。

新校舎は一階に校長室、職員室と教育相談室、地域ボランティア室など、二階から四階に一般の教室十八室があります。

教室はオープンルームで廊下との間仕切りがない明るく開放感のある新しい形式です。

パソコンずらりの新教室も



親子で飛行機づくり



ふれあい協議会の教育文化部会はPTAと協力して、十月十五日、山田小体育館で、ものづくり教育の一環として「模型飛行機づくり」大会を開きました。

参加した児童はおよそ四十人、まず、飛行機の飛ばす原理、揚力と重力の関係を勉強、おやじの会の指導で、工作に挑んだあと、滞空時間を競い合いました。親子共々楽しみ、入賞者はメダルを胸に誇らしげでした。